

経済倶楽部便り

(塚田 紀史)

◆東京◆ 4月17日に春の事業所見学会で国立印刷局小田原工場に向きました。メインの紙幣の印刷工程は2階からのガラス越しの見学となりましたが、参加者からの「プロ並み」の質問、さらに回答の補足に、先方の解説職員は驚きを隠せない様子でした。

さて5月の講演会には矢吹晋氏(横浜市立大学名誉教授)、田中弘氏(神奈川大学教授)、寺島実郎氏(日本総合研究所理事長、多摩大学学長)をお招きします。

新会員を紹介します。今井孝・味の素コミュニケーション・シヨンズ常勤監査役、大西浩志・ネットラーニングホールディングス取締役副社長、鹿戸丈夫・楽天銀行取締役常務執行役員、鈴木道弘・日本ピグメント監査役、深澤正宏・安田不動産代表取締役会長、町田治之・森林総合研究所森林農地整備センター理事所長。

◆中部◆ 名古屋に来てほぼ1年。夏休みには家族と休日には一人で伊勢・志摩や知多半島、岐阜県の近郊を何度か訪れました。先頃は岐阜城に行つて来ました。東京からの転勤者にとつて、岐阜市は名古屋からかなり遠い所にあるとの印象が強いのですが、JR名古屋駅から普通電車で20分の近さにあることに驚きます。

岐阜駅前には金色に塗られた織田信長の銅像が立っています。ここは織田信長が斎藤道三の嫡男、龍興を破つて城を獲得し、旧名の井ノ口を岐阜と改名させたことで知られています。ロープウェイで金華山の上にある城に登り、天守閣から顔を出すと、それこそ美濃平野が一望でき、遠く名古屋の高層ビルまで目に入ります。しばし、往時の武将の感慨に浸った次第です。

5月の定例講演会は元NHKモスクワ支局長の小林和男氏と独立総合研究所社長の青山繁晴氏を予定しています。

(日暮良一)

社団法人経済倶楽部（東京）ご紹介

Q 東京の経済倶楽部の主な事業は何ですか。

A 毎週金曜日の12時40分から2時近くまで開かれる定例講演会がいちばんの事業で、東洋経済ビル9階のホールが会場です。年に約45回、毎週末に日本橋へ出かけるのを楽しみにしている会員が多数おられます。

講演はいずれも一流講師による充実したもので、経済、経営、政治、国際を中心に、時折、健康、教養のテーマまで幅広いものとなっています。講演を読みやすく編集した『経済倶楽部講演録』が毎月、届けられますので、欠席の場合はもちろん、出席した場合でも読み直してくださる会員がたくさんおられます。

さらに毎月の経済金融懇話会、物申す会（会員相互の勉強会でいずれも無料）のほか、有料で事業所見学会（年2回）、ミニ見学会（随時）、銷夏・忘年パーティ

イ、ゴルフ親睦会などがあります。毎週、講演会のあとホールで映画鑑賞会（無料）があり内外の名画が上映されますが、こちらはご家族も自由に参加できます。

Q 会員制度はどのような仕組みですか。

A 会員は約660人で、法人会員（3名連記）と個人会員からなっています。個人は1親等に限り名義書換が無料で、半年会費が4万2000円です。入会は会員の紹介が基本ですが、紹介のない場合でも入会可能です。会員は講演会の聴講、『経済倶楽部講演録』の講読、各種企画への参加、ホールや会議室利用・食事・書籍雑誌購入などで割引の特典があります。

Q 『経済倶楽部講演録』だけ講読したいのですが。

A そのようなご希望をしばしばいただきますが、『講演録』は経済倶楽部の会員しか定期購読できません。裏表紙に「定価525円」と書いてありますが、これは会員が折々、友人などに進呈したいと希望された場合などのためのものです。